



学校だより

No. 5

－夏休み前特別号－

2024年7月19日

聖ウルスラ学院英智小・中学校

いよいよ夏休みです。まだ梅雨明け前ですが、今週末からは30℃を超える日が続く予報です。夏休みに入るにあたり、熱中症や水の事故などの基本的な夏の注意事項と併せて、水害に対する対策や危機管理についても家庭内で確認し合うようお願いいたします。

楽しく実りある充実した夏休みになるよう、お祈り申し上げます。

《8・9月行事予定》

その他	日	曜	光	First	Second	Third
	1	木	○			T1夏期課外
	2	金	○			↓
	3	土	-			
	4	日	-			
	5	月	○			T1夏期課外
	6	火	○			↓
	7	水	○			
	8	木	-			T1夏期休業(～18日)
	9	金	-	学校閉鎖 8月9日(金)～18日(日)		
	19	月	○			T1夏期課外
	20	火	○			
	21	水	○	漢字検定 8:45～10:00		
	22	木	○			(河北震災復興新聞南三陸)↓
	23	金	○	夏休み後集会／セカンド・サードは育伸社私学テスト SB12:15		
	24	土	-	セカンド・サード育伸社私学テスト、6年生宿泊説明会③多目的、T1自宅学習日		
	25	日	-			
	26	月	○			
午後短縮SB15:30	27	火	○			
	28	水	○		⑥クラブ	
	29	木	○	夏休み作品展～9/4	⑤⑥5・6年キャリア教育	
	30	金	○			
	31	土	-	児童生徒休業日(小・中学校説明会)		
(高校英智祭)	9/1	日	-			
	2	月	○	全校朝礼 ①～④サード学力推移		
	3	火	○			
午後短縮SB15:30	4	水	○	4年学力テスト		⑥委員会
	5	木	○	3年加美町体験学習	⑤⑥5・6年キャリア教育	
	6	金	○	午前授業 SB13:30	7年①～④学力推移	
	7	土	-	英智EC(児童生徒休業日)		
	8	日	-			

【ファーストステージ 夏休み作品展】

夏休み作品展について、下記をご確認ください。

・展示期間 2024年8月29日(木)～9月4日(水)

※ご家族の鑑賞については、来校観覧のみです。(校地内に駐車はできません。)

来校時間…(平日)15:40～16:30、(土)11:30～12:20

8・9月行事予定

〈8月〉

9日(金)～18日(日) 学校閉鎖 (光クラブは前日(8日)から休室です。)

21日(水) 漢検(午前・希望者) 8:45 集合 10～8級 9:40 終了 7～2級 10:00 終了

23日(金) 夏休み後集会・午前授業(S,T2育伸社テスト) 給食弁当なし・SB12:15 T1は午後まで(要弁当)

F1～4年 :①～③ 学活等

S5年 : ①学活 ②③育伸社テスト

S6年 : ①②③育伸社テスト

S7/T2 8・9年:①学活 ②～④育伸社テスト 12:30 下校

24日(土) F 通常 SB 土曜通常運行 T1 自宅学習日 (S5～7年,T2 下記)

S5年 : ①②③育伸社テスト

S6年 : ①②育伸社テスト ③宿泊学習説明会

S7/T2 8・9年:①②育伸社テスト ③授業

29日(木) 5・6年⑤⑥キャリア教育出前授業

31日(土) 児童生徒休業日(小・中学校説明会)

〈9月〉

2日(月) 全校朝礼

4日(水) 4年学力テスト

5日(木) 3年体験学習(加美町)

6日(金) 午前授業 SB13:30

7日(土) 児童生徒休業日(第13回ウルスラ英智イングリッシュコンテスト)

12～14日(木～土) 5～9年前期末考査(5・6年は12・13日)

14日(土) PTA バザー

19・20日(木・金) 4年(東松島)、5年(岩手)、8年(南三陸)宿泊学習

(4・5年 21日(土)自宅学習日)

21日(土) 9年宿泊研修ケアンズ保護者説明会

24日(火) うるすら☆ふえすた

25日(水) 立会演説会・生徒会(信幸会)役員選挙

26・27日(木・金) 6年宿泊学習(福島・Global Camp)

28日(土) 6年自宅学習日・第2回英検



前期終業式 10月4日(金) 午前授業 ④終業式

秋期休業日 10月5日(土)～8日(火)

後期始業式 10月9日(水) 通常授業(但し、水曜なので午後短縮、SB15:30)

7月《聖書のことば》

「人の口は、心からあふれ出ることを語る。」（ルカによる福音書 6章 45節）

この言葉は、私たちが「善いものである」から「良いことをする」ということを教えてくれている一節です。言葉と、心と、行動とは、つながっているのだと、示してくれています。このようなことを考えたとき、私は次の言葉を思い出します。

「言葉というやつは、心という海に浮かんだ冰山みたいなものじゃないかな。」

これは、私の好きな小説「銀河英雄伝説」(作:田中芳樹)の一節です。この後には、次のような言葉が続きます。

「海面から出ている部分はわずかだけど、それによって海面下に存在する大きなものを知覚したり感じとったりすることができる。」

「海」に浮かんだ「冰山」は、外から見える部分のごくわずかで、その実、水中には大きな全体像があります。それを「心」と「言葉」にたとえた比喩表現です。つまり、私たち一人ひとりは、それぞれが広く深い「心」を持っているのですが、「言葉」は、そのほんのわずかしが表現できないということを言っています。だから、私たちは言葉を大切に使う必要があるのです……ということ、児童・生徒の皆さんに伝えるために、担任クラスには、氷山のイラストと共に掲示していたこともありました。もしかしたら覚えている方もいらっしゃるかもしれませんね。

この点について、私は近年思うことがあります。それは、言葉は「発する」側の吟味はもちろんのこと、「受け取る」側の想像力も大いに必要なのだということです。

例えば、一見すると強い拒絶表現である「きらい」という言葉があります。その「きらい」という「言葉」を選んだ背景に、どのような「心」があったでしょう。

「(どうして知らなかったの?昔から)きらい(って言ってたじゃん)。」

「きらい(って言えば、気にかけてくれるよね)。」

「(元々全然平気だけど、今日は)きらい(な気分なんだよね)。」

もちろん、文字通り、ストレートに「きらい」を伝えたい場合もあるでしょう。

同じ言葉を選んだとしても、様々な背景が在り得ることと思います。ここで忘れてたくないのは、私たちが「善いもの」として生まれてきたという点です。

そこに想像力を働かせられるか、どのような言葉をかけ、やりとりを重ねていくかは、互いの信頼関係や、相手への愛の実行(思いやり)、言葉の力など、さらに様々な要素によって変わっていきますね。

本校は、「こころの教育」を大切にしている学校です。また、「言葉」を大切にしている学校です。一人ひとりが、どう「愛」を実行し、どのように「言葉」をつむいでいくのか、今後も見守っていきたいと思います。

ほめたたえ

☆第41回宮城県中学校校内放送コンテスト

朗読部門 銅 賞 9年 千葉誠也 →全国大会へ

奨励賞 9年 松田美采 菅野明璃

☆中学校課程 合唱コンクール

最優秀賞 門 脇 学 級 (291) 「手紙～拝啓15の君へ～」

金 賞 充 学 級 (292) 「絆」

持 館 学 級 (7C) 「HEIWA の鐘」

富田・木村学級(191) 「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

指揮者賞 181二瓶華音(かのん) 191大宮侑己(ゆうき)

伴奏者賞 7C 杉山美功哉(みくや) 292齊郷友花(ゆはな) 以上 賞は演奏順

～合唱コンクールの舞台裏～ 集合・体育館声出し練習・ステージリハ・最優秀賞クラス



夏休み中(8月)の各種報告はメールでお願いします。
アドレス st.ursula.eichi.shochu@gmail.com

